

2017年7月21日

一般社団法人日本 TDM 学会「抗てんかん薬 TDM 標準化ガイドライン (案)」  
に関するパブリックコメントの募集

一般社団法人日本 TDM 学会  
理事長 栄田 敏之  
TDM ガイドライン策定委員長 谷川原祐介  
抗てんかん薬 WG 委員長 千堂 年昭

謹啓、

日本 TDM 学会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本学会は 2013 年に「抗てんかん薬 TDM ガイドライン」を発表し、医療現場で TDM を実施する上での指針を提供してきました。このたび新規抗てんかん薬も含めて最新のエビデンスを吟味し内容を全面的に改訂した「抗てんかん薬 TDM 標準化ガイドライン (案)」を策定いたしました。会員の皆様からのパブリックコメントを募集いたします。

1. 「抗てんかん薬 TDM 標準化ガイドライン (案)」の骨子は、学会誌「TDM 研究」Vol. 34, No.2, 2017 の 67～95 ページに掲載されています。Version 1.0 と表記された文書がガイドライン案となります。

2. ご意見は下記へお寄せいただきたくお願いします。

パブリックコメント提出方法：件名を「抗てんかん薬ガイドライン」としてメール送信願います。

提出先メールアドレス：jstdm.pubcom@gmail.com

パブリックコメント募集期間：2017年7月21日～8月4日

3. なお、詳細なガイドラインは冊子体として制作し、2017年9月23日(土)～24日(日)開催の第34回日本 TDM 学会・学術大会に間に合うように発刊することをめざしています。

会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬白